

# 日本IHE協会 眼科部門 現状報告

眼科技術委員会

# 目次

- 眼科における標準化の取り組み
- 眼科医療機器協会の役割
- 米国の統合プロフィール
- 診療ワークフロー検討状況
- 日本の眼科診療ワークフローとの相違
- まとめ

# 眼科における標準化の取り組み(1/3)

## ■ 眼科の特殊性

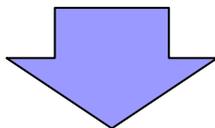
- 単一科内に複数の検査部門と診察部門を有する診療
- 検査と診察が入り組んだ診療のワークフロー作成
- 100種類を越える検査の標準化

## ■ 標準化への対応策

- 診療ワークフローの整理
- 検査データの標準化



- ・眼科には多数の自科検査・処置がある。
- ・自科検査は画像、数値、文字、スケッチがある。



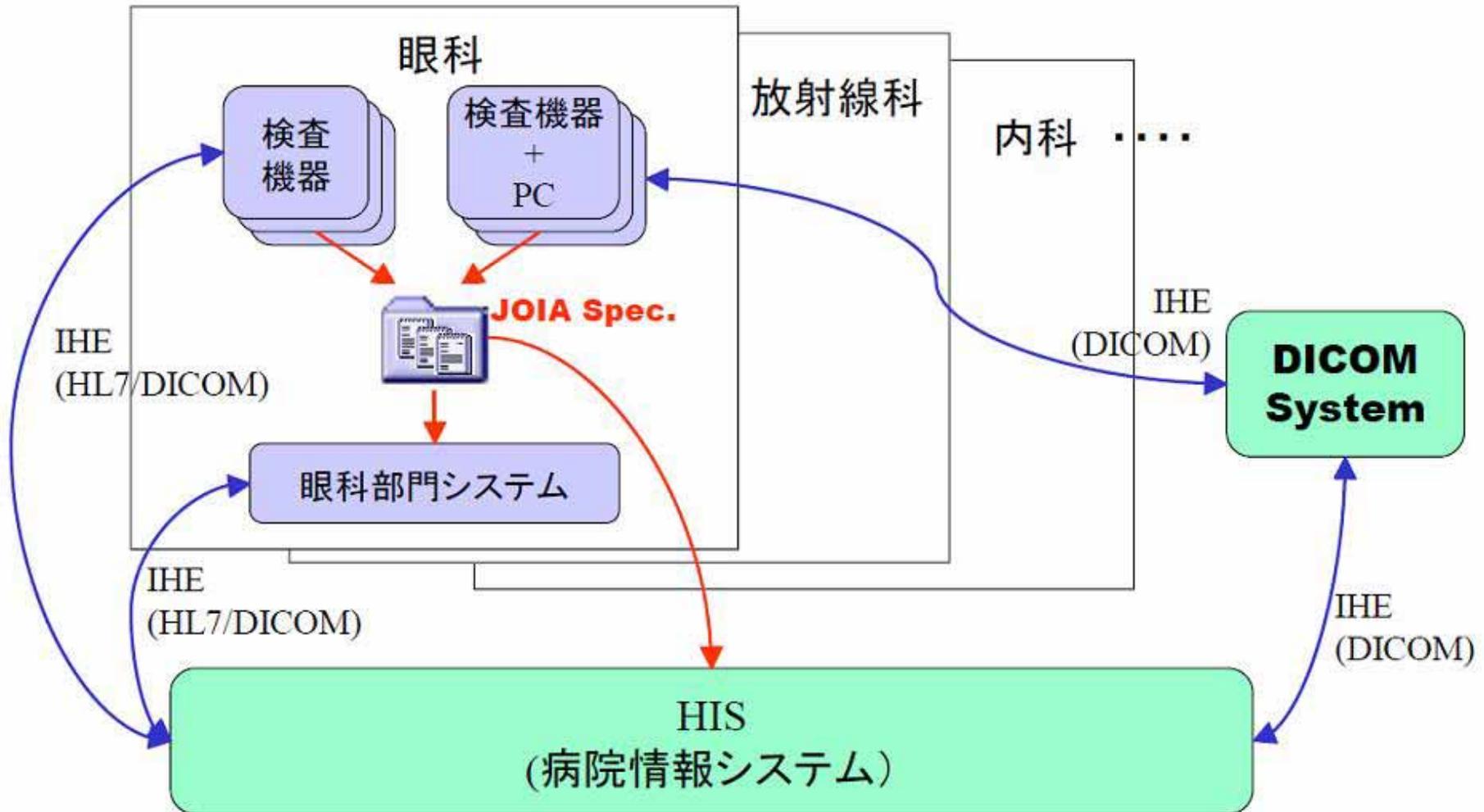
各検査機器からのデータを標準化する。

# 眼科における標準化の取り組み(2/3)

## 連携手段としてのDICOM規格

- DICOM WG-09(DICOM眼科部門)
  - Sup91 :眼科画像のModality(2004発行)  
(一般的な眼科画像を扱う)
  - Sup110:眼科OCT画像のModality(2007発行)  
(眼科用OCT画像を扱う)
  - Sup130:眼科検査データのModality (2008発行)  
(一部の検査データを扱う)

# 眼科における標準化の取り組み (3/3)



# 眼科医療機器協会の役割(1/2)

## ■ 眼科医療機器協会とは

- 眼科検査機器メーカー104社が加盟する団体
- 標準化技術委員会:22社(36名)が登録

## ■ 役割

- 眼科検査機器からの検査データの出力の標準化

# 眼科医療機器協会の役割 (2/2)

## ■ 標準フォーマット

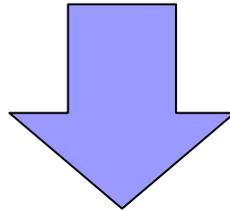
- XMLファイルを採用

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Measure>
<REF>
  <Company>ABCD</Company>
  <ModelName>Refract</ModelName>
  <Version>1.00</Version>
  <Date>2007/11/19</Date>
  <Time>14:20:52</Time>
  <Patient>
    <No.>0193</No.>
    <ID>ABCDEFGHIJKLMN</ID>
  </Patient>
  <VD>0.00 mm</VD>
  <PupillaryDistance No = "1">
    <Far>26</Far>
  </PupillaryDistance>
  <R>
    <List No = "1">
      <Sphere>- 9.25</Sphere>
      <Cylinder>+ 3.25</Cylinder>
      <Axis> 4</Axis>
    </List>
    <Median>
      <Sphere>-10.25</Sphere>
      <Cylinder>+ 4.00</Cylinder>
      <Axis> 4</Axis>
    </Median>
  </R>
</REF>
</Measure>
```

# 米国の統合プロフィール 1/3

## ■ IHE-NAで検討

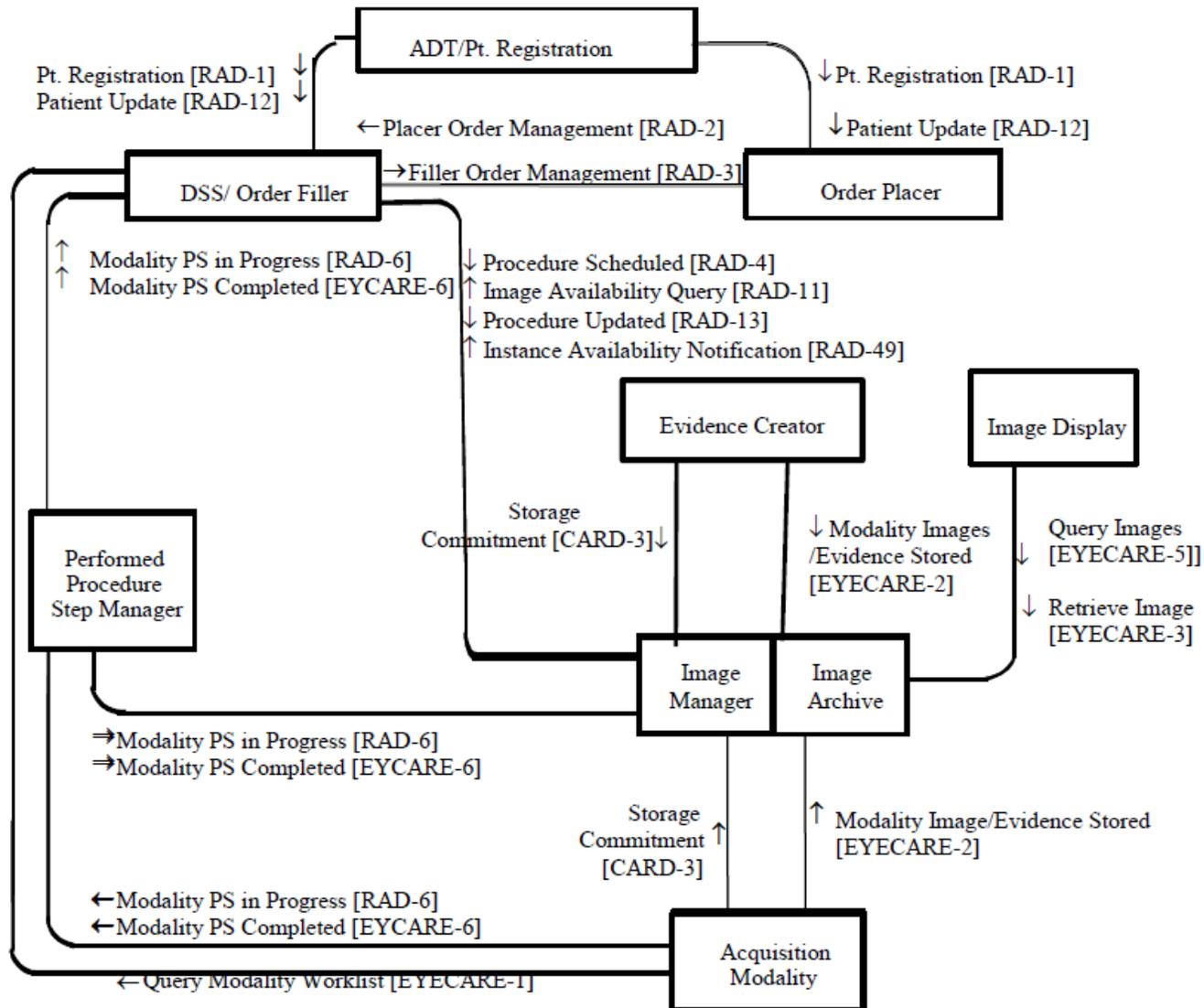
- Eye Care Workflow (EYECARE)  
(7つのユースケースを規定)
- Charge Posting (CHG)
- Eye Care Evidence Documents (ECED)
- Eye Care Displayable Report (ECCR)



## ■ IHE-Jで検討

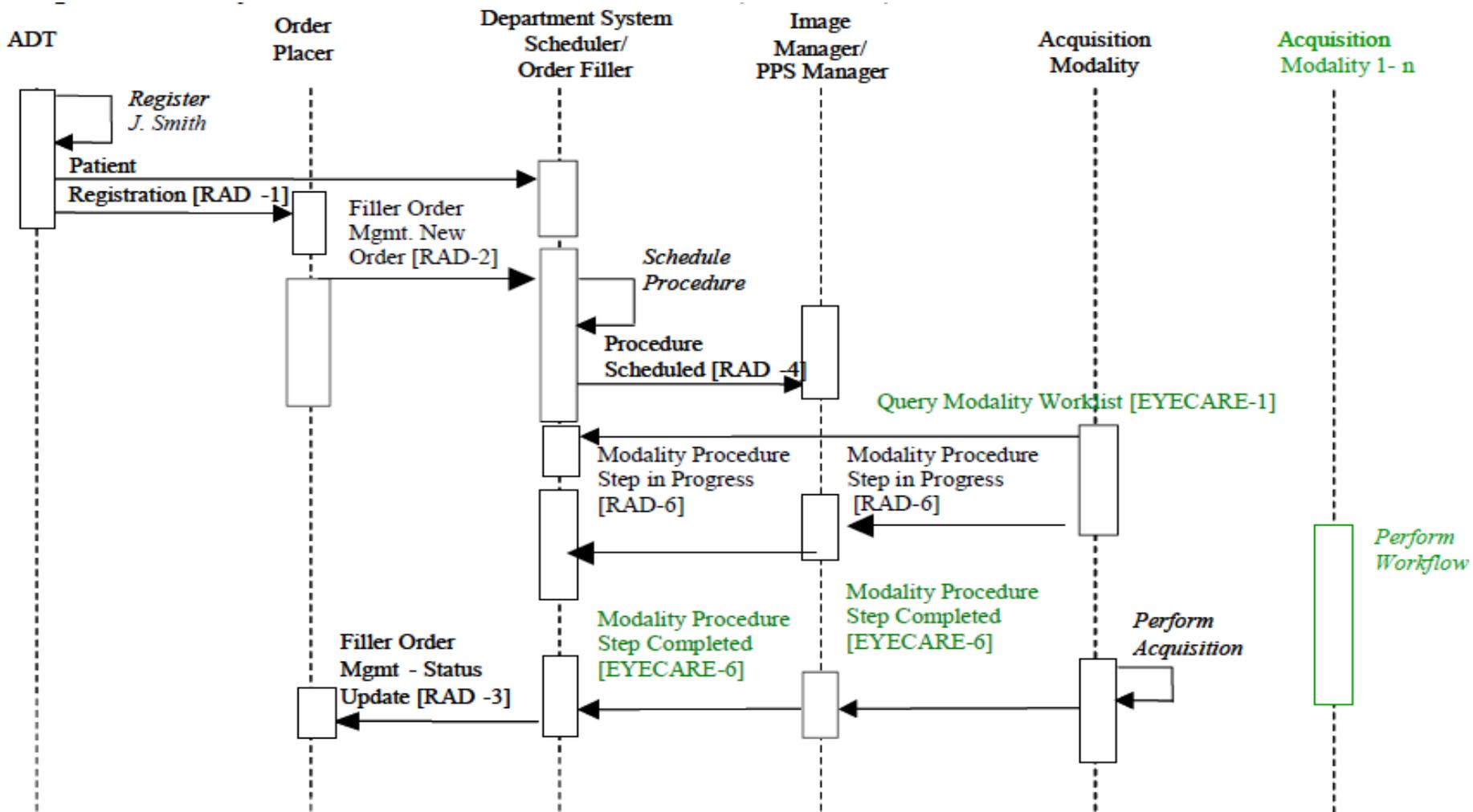
- Eye Care Workflow (EYECARE): ユースケース1のみ

# 米国の統合プロフィール 2/3

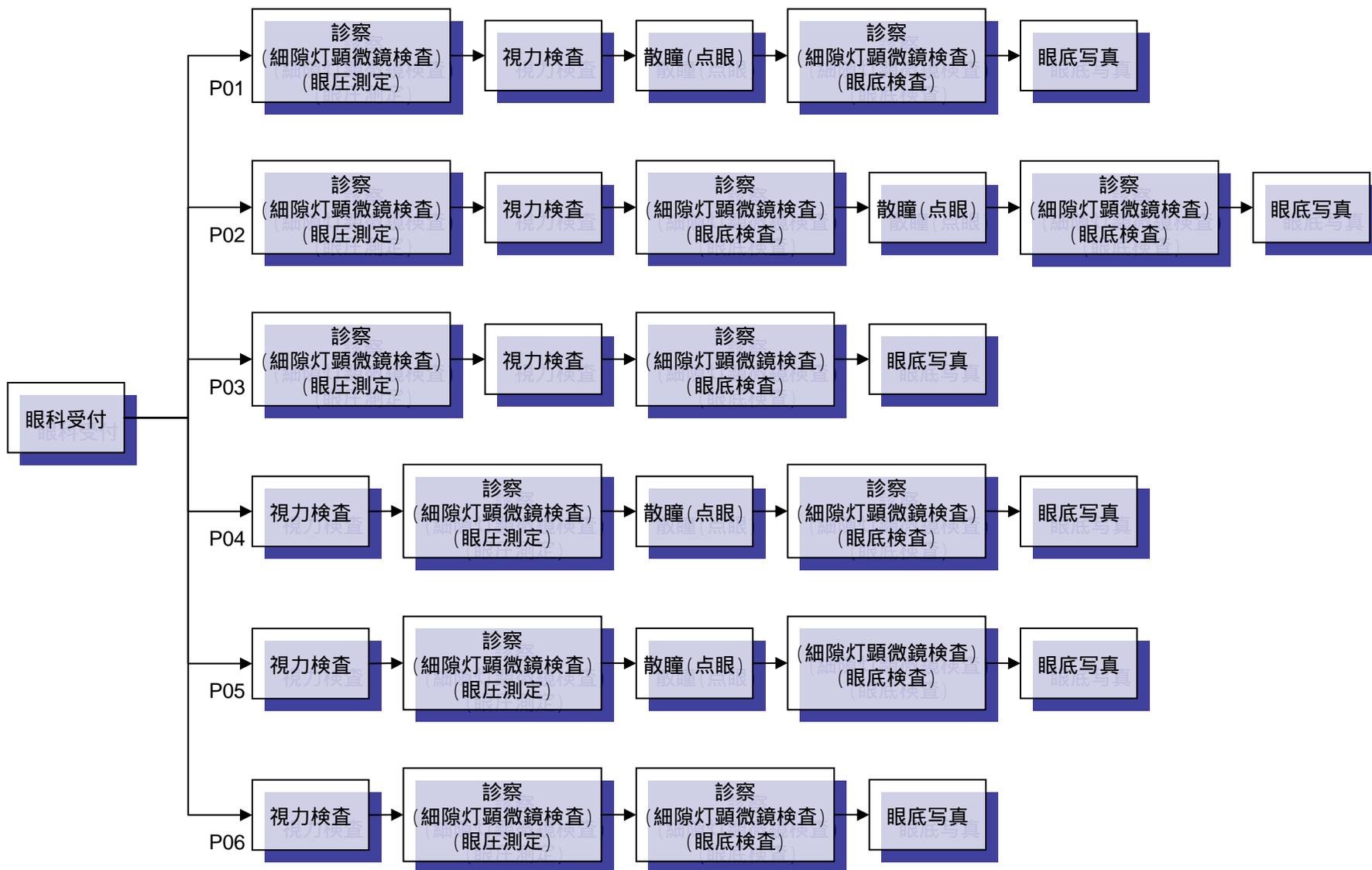


# 米国の統合プロフィール 3/3

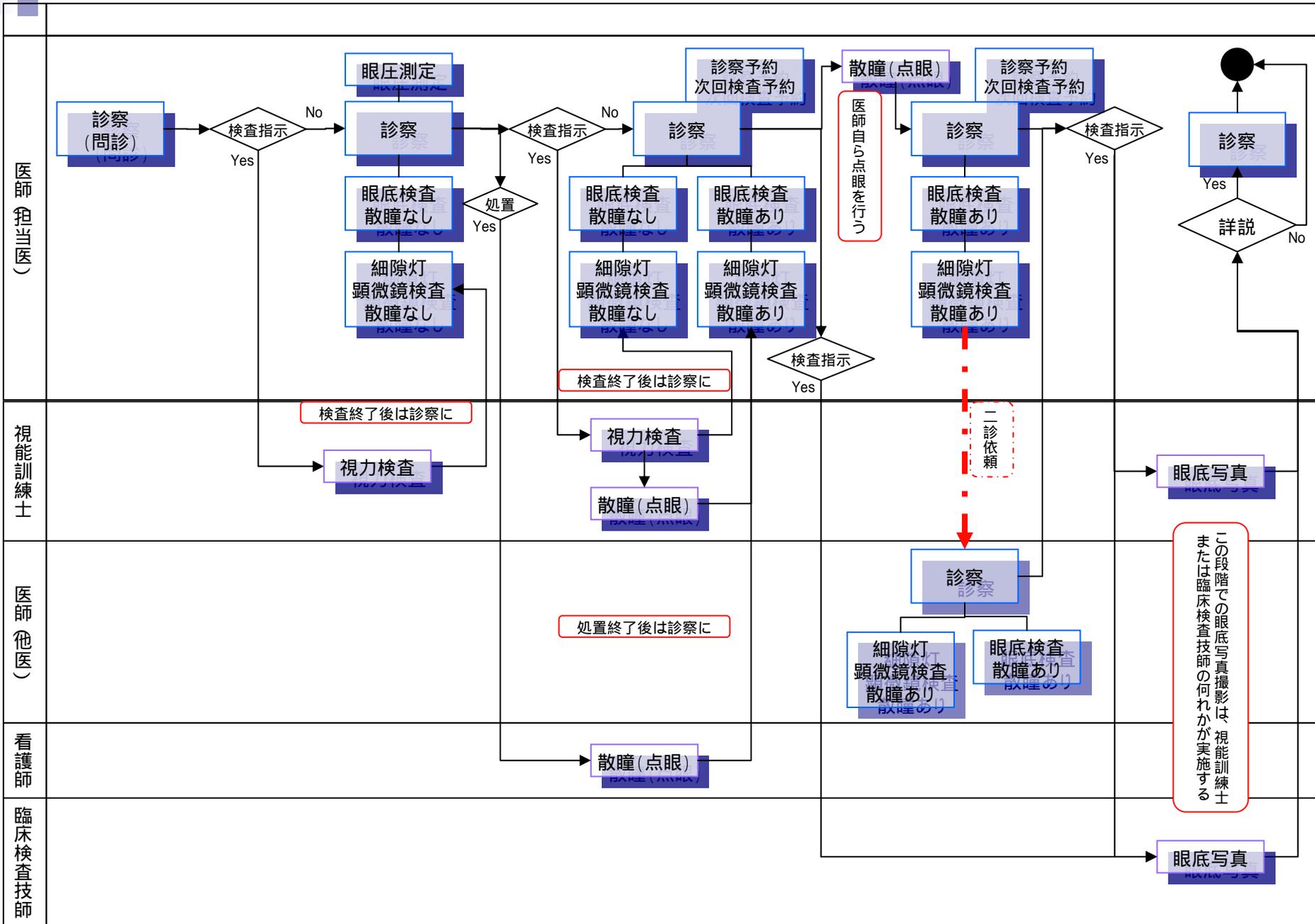
## 一般的な眼科診療の場合



# 診療ワークフロー検討状況1/2



初診時ワークフロー (TWMU) ~ 診察・検査・処置と医療スタッフの関連フロー ~



# 日本の眼科診療ワークフローとの相違

## ■ 米国と日本の診療形態の違い

- 米国: 専門の検査者がいて、検査を行う場合医師がオーダーを発行して検査を依頼する。
- 日本: 検査を医師が行うことが多く、オーダーを明確に切り分けられない。(自己完結している)

# まとめ

- 自科検査のフローが米国に比べ、明確に出来ないことが診療ワークフローを作成する上で障害となっている。(企画委員会)
- 米国の統合プロフィールを確認し、テクニカルフレームワークを作成する予定。(技術委員会)
- 非常に多くの検査データを標準化するため、眼科医療機器協会で国内の標準化を進めている。